

平成29年度
豊橋市市民協働推進補助金
事業報告会



平成30年6月29日（金）10時～
豊橋市役所 市民ギャラリー

目 次

補助金の種類	団体	事業	頁
つつじ	音楽まつり実行委員会	音楽まつり	1
つつじ	みんなの居場所「しあわせクラブ」	しあわせクラブ	2
つつじ	豊橋こども食堂*なかよし	豊橋こども食堂*なかよし	3
くすのき	木好きらく会	第2回おもしろいがいっぱい！ モノづくりフェスティバル in 豊橋	4
くすのき	天伯団地「支え合い活動ひだまりの会」	天伯団地「支え合い活動ひだまりの会」	5
くすのき	二川さくら守の会	二川さくら守の会	7

- ・ つつじ補助金 設立後5年未満 補助率 10/10 上限5万円
- ・ くすのき補助金 設立後2年以上
 - 1回目 補助率 2/3
 - 2回目 補助率 1/2
 - 3回目 補助率 1/3 3回とも上限30万円





事業名等	音楽まつり
団体名	音楽まつり実行委員会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>音楽まつり ～音楽の輪～ 11月11日(土) 午後1時～4時30分 会場 浜道体育館・アリーナ 参加者数 1,123名</p> <p>音楽を通して「地域の輪」「友好の輪」をつくり地域の絆を深めるために『音楽まつり』を実施しました。地域の音楽団体、個人の演奏家の演奏会をたくさんの地域住民の参加を得て行いました。</p> <p>[参加団体] 高師東こども園 高師小学校 津軽三味線「雅會」 高師台中学校吹奏楽部 本郷中学校吹奏楽部 豊丘高「和太鼓部」 豊川沖縄三線クラブ ブーグルラッパ隊 DYR ダンススクール 桜丘高吹奏楽部 アイルランド民謡部</p> <p>総事業費：78,200円(内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>2年目を迎えて「音楽会」として定着しつつある。多くの方々が参加され、幅広い音楽ジャンルと幼稚園から小中高、大人までの演奏を堪能した。</p> <p>参加者層も高齢者から幼児まで幅広く、音楽の持つ効能を実感し、笑顔あふれる演奏会になった。地域の絆を一層深める機会として貴重なひと時となった。</p> <p>音楽会後の団体毎の交流も盛んになり、大きな「輪」になりつつある。参加希望も多く、今後の継続への礎が強固になりつつある。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>音楽団体や個人の参加希望が増加してきました。限られた演奏時間で、その団体色を打ち出すには十分ではありませんので、今後は舞台監督の演出に工夫が必要です。</p> <p>また、豊橋市には外国人居住者も多く、音楽文化も様々ですので今後は音楽を通しての交流を位置づけて、幅広い「音楽会」にしていきたいと考えています。また、技科大・愛知大学との提携をすすめ、留学生の出演、参加を呼び掛けていきます。</p>



事業名等	しあわせクラブ
団体名	みんなの居場所「しあわせクラブ」

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>○しあわせクラブ 内容 毎月 第4火曜日午後1時30分より3時30分まで 下記事業の他、折り紙をしたり、お茶を飲みながらおしゃべり、大正琴、ハーモニカ演奏で歌い楽しく過ごす</p> <p>4/25 (26名) 包括支援センターによるお話と体操 5/23 (30名) 包括支援センターによるお話 「クーリングオフについて」 6/27 (32名) 家具の転倒防止について 7/25 (23名) 血流を良くする体操 8/22 (19名) 包括支援センターによる認知症予防レクリエーション 9/26 (33名) アンケート調査、なぞなぞにチャレンジ1 10/24 (39名) 豊橋警察署交通安全講話(老人クラブと合同) 包括支援センターによるお話と体操 11/28 (26名) 認知症サポーター養成講座 12/19 (16名) クリスマスカード作り 1/23 (26名) 包括支援センターによる穂の国体操 2/14 (9名) 保育園の地域交流会(老人クラブと一緒に参加) 2/27 (26名) お手玉を使って軽い体操 3/27 (27名) 包括支援センターによる口腔ケアについて</p> <p>○打ち合わせ会議 毎月1回第3月曜日午前9時から 内容・しあわせクラブの内容及び日程について検討・茶菓子の購入について・演奏者に曲目の依頼・折り紙の試作・会場及び資料の準備他公民館敷地の除草</p> <p>4/17 (6名)、5/15 (7名)、6/19 (6名)、7/17 (5名)、 8/12 (7名)、9/18 (6名)、10/16 (7名)、11/19 (7名)、 12/11 (7名)、1/15 (7名)、2/19 (6名)、3/19 (6名)、 3/27 (7名)、反省会</p> <p>総事業費：89,026円 (内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>毎月参加するのを楽しみにしている人が多く、友達が出来元気になった。おしゃべりをする事で人と人の繋がりができ、地域で出会うと声を掛け合う人が多くみられる。安心して暮らせるようになり声を掛け合って地域の行事に参加する事が多くなった。活動範囲が広くなり、サークルや老人クラブに参加して元気になった方が多くみられる。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>地域を広げて参加を呼び掛け、他の地域でもみんなの居場所の開設が出来ればと思っている。一部の地域で開設の相談があり期待している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果から75歳以上の参加者が多く(62%)、身体障害者(難聴)も時々参加されるので対応についてスタッフの勉強会も必要。 ・今年度も実施したが講演、講話の要望も有り関係機関と相談、話し合いをして対応していきたい。



平成29年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	豊橋こども食堂＊なかよし
団体名	豊橋こども食堂＊なかよし

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	<p>平成29年9月から平成30年3月までに5回のこども食堂を開き、延べ250人位の子ども達にカレーライスを提供致しました。 尚、平成30年1月及び2月はインフルエンザの流行の為、こども食堂はお休み致しました。</p> <p>参加者への限定は全くないので、本当に食事に困っている子どもにも気楽に参加してもらえたのではないかと考えております。</p> <p>又、この食堂は毎月1回色々な年齢の子ども達が共に食事をする機会となり、家庭、学校、塾等では実現出来ないリラックス出来る居場所の提供も出来ているのではないかと自負しております。</p> <p>総事業費：58,491円 (内補助金：50,000円)</p>
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	<ol style="list-style-type: none">1. こども食堂が毎月1回開かれる事は近所の子ども達にも知れ渡り、毎回楽しみにしてくれる様になりました。2. 市内では、他の校区でも新たにこども食堂を始める所も出て来ました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	<p>今後は、対象者をお年寄りの方々等、より広い年齢層の方々にも広げて行き、地域の人々の交流の場にもなる様にして行きたいと思っております。</p> <p>又、子ども達への食事提供のみでなく、読書会や学習支援等にも対応したいと思っております。</p>



事業名等	第2回おもしろいがいっぱい！ モノづくりフェスティバル in 豊橋
団体名	木好きらく会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>モノづくりの楽しさ、面白さと、木の温もりを子どもたちに伝えると共に、モノづくりを通じ、三世代の交流イベントを開催した。</p> <p>① 愛地球博で学んだ竹ドーム交流村（10基） 手づくり体験コーナーを設け、木工キット教室・箸づくり教室・木の玩具コーナーと親子連れが終日訪れ、三世代の交流が図られた。</p> <p>② 一般参加の手づくり交流村（63ブース） 東三河地区のクラフト作家が大勢参加し、それぞれのブースで体験コーナーはじめ自慢のクラフト作品が並び、市民との交流が生まれた。</p> <p>③ 生演奏&踊り交流村（10組） 両日ともステージ上では、地元の太鼓・フォーク・フラダンス・キッズダンス等、演者が音楽を奏で会場を盛り上げた。特に昨今学校でも取り上げられているダンスには、多くの子どもが踊りの輪を繰り広げ、参加者を喜ばせた。</p> <p>④ お楽しみ抽選会（日曜日） モノづくりフェス最後は、出店された作家から提供された作品が当たる大抽選会。会場にはお客さんはじめダンス出演の子ども達も加わり、作品が当たるたびに大きな歓声上がり、盛り上がった。</p> <p>総事業費：644,681円（内補助金：300,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>今年は天候不順が続き心配しましたが、両日とも好天に恵まれ、人出も多く会場は盛り上がり好評でした。</p> <p>① モノづくりをテーマとし三世代の交流を図る事業 中心の竹ドームに8つの体験コーナーを設け、木工キット・箸づくり・玩具コーナー・凧づくり等、親子で体験するコーナーが好評でした。</p> <p>② 出店ブースには、初めて参加の主婦も多く、お客さんとのやりとりを楽しむ姿が見られ、モノづくりの楽しさ面白さを体験していました。「次回も開催お願いします。」との声が多く聞かれました。</p> <p>③ 屋外の会場には音楽は大事な要素、音楽を聴きながらの楽しい雰囲気がこの催しの特徴です。少ない予算の中での出演者に苦労しましたが出演者もお客様も喜んでくれました。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>モノづくりの催しは、継続することで出店者からの信頼と、お客さんからの人出に繋がりますので継続が基本です。</p> <p>主催する木好きらく会は、木が好きモノづくり大好き人間の集まりですが、会員は、定年退職後のシニアが大半を占めますので、後継者問題があります。会場の準備は、竹ドーム設置に始まり、舞台設営、ブースづくり等、手づくり部分がほとんどですので、今後は、他組織との連携並びに、学生ボランティア等の連携も考慮しながら、開催することといたします。</p> <p>モノづくりの地：豊橋をうたい文句に始まったモノづくりフェスティバル、各方面からの応援をいただきながら、第3回も開催できるよう頑張っています。</p>



事業名等	天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」
団体名	天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>1. 事業の概要（取組内容） (1) 居場所づくり ①茶話会 計24回 延人員460人 19.2人/回 ＊第二土曜 ＊牛乳パックイスづくり、ちらしのゴミ箸づくり、囲碁・将棋・麻雀、折り紙、おしゃべり等 平均17.8人/回 ＊第四土曜 ＊健康体操、ペーパークラフト、手提げ袋作り 平均20.5人/回 ②手芸教室 計12回 延人員137名 11.4人/回 ＊毎月第二金曜 安否確認旗の準備、お手玉づくり、マラカスづくり、干支づくり ③カラオケ教室 計12回 延人員123人 10.3人/回 ＊毎月第三金曜 ＊DVD各自持参 (2) お互いさま活動 庭木の剪定 5件、包丁砥 3件、蛍光管取換 1件、病院の付き添い1件、買い物1件、見守り1件、計12件 総事業費：317,926円（内補助金：200,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>1. 「ひだまりの会」結成後、公民館を中心にコミュニティ活動が各段に活性化できた。 2. 団地内がにわかに明るく、元気なお年寄りの外出する姿が目立つようになった。 3. 挨拶運動がおこり、お年寄りも子供も元気よく身振り、手ぶりで挨拶している光景もあった。 4. ひだまりの会で高齢者が、安否確認旗を320本完成させた。団地防災会、団地自治会が、影響を受け、活動が活発化された。次に展開する向こう三軒両隣の組織（班）に弾みができた。 5. 有事の際の危機意識が生まれ、自分のことをどう守り、人に迷惑しないで済むためにどうしたらよいかいつの間にか話し合うようになっていた。 6. 今後、支え合い活動を立ち上げる多くの他団体への発信力が高まり、見学に来る団体や、講演依頼の要請を受けるようになった。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>1. 役員間の合言葉として、1年半が経過した。これからは本格的活動だという意識で取り組む。 ・茶話会での参加呼びかけでは、健康体操を行う第四土曜に多く参加することがわかった。また、男性が少ないのは、男性が集まるメニューが少ないからだということもわかった。 ・カラオケ教室、手芸教室だけでなく豊富なメニューをとりそろえることで、多く人が呼べると確信した。 2. 安否確認旗の製作は、ついに完成した。ひだまりの会の高齢者の努力を無駄にすることなく、有事の際の人の命を守るための訓練を繰り返し重ねる努力が大切と考えている。 3. 平成29年度では、団地内の三公園の美化活動にも取り組んだ。ひだまりの会が中心となり、高齢者のボランティア活動として明るく楽しく展開できている。 4. お互いさま活動は、定着するためにはもう少し時間がかかる。どうしても遠慮しがちのため、日常的な訪問活動を徹底したい。病院の付き添い、買い物に問</p>

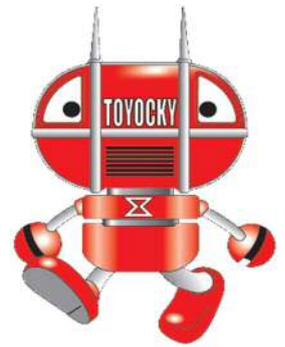
	<p>題がある。(タクシー会社との問題)</p> <p>5. 以上の活動を継続しつつ、茶話会(第二土曜)として、「歌声喫茶 そよかぜ」を7月に立ち上げる。アコーディオンの音色で、昭和歌謡を歌う会だ。話題性があり、高齢者を必ず元気にさせられる企画である。手芸教室も、レベルアップをはかり、手提げかばん、財布づくり、小物づくり等豊富なメニューを用意していく。</p>
--	---



事業名等	二川さくら守の会
団体名	二川さくら守の会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施のため毎月1日前後で役員会を行う。(4~6人) ・春のさくらまつりと称して昨年行った樹勢回復事業の成果を皆で讃え合う。(お花見会)・・・平成29年4月2日68名参加で実施。 ・二川町東町の梅田川のさくらをライトアップしました。平成29年4月1日~8日まで。 ・さくら守育成のための講演と実習会・・・平成29年10月28日(土)24人参加。 ・秋のさくらまつりと称して葉っぱの落ちたときに施肥、剪定をして樹勢回復を行う。・・・平成29年11月19日70人参加で実施。 <p>総事業費：502,439円(内補助金：300,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後に植えられた梅田川の桜の多くはソメイヨシノで寿命を迎えようとしていました。天狗巣病等の伝染病も多く見受けられました。この活動を始めて5年になります。年々天狗巣病を取り除き、剪定をして施肥を行う。地道な作業ですが手入れをした桜は次の年には見事な元気な花をつけてくれます。 ・さくらの勢いが違います。 ・さくらが喜んでいきます。 ・さくら守の活動の輪が少しずつ広がっているのを感じます。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・梅田川の手入れの必要な桜はまだまだ沢山あります。 ・今後も秋のさくら祭りと春のさくら祭り(花見会)は続けて行きます。 ・毎年イベントを開催するには資金が必要。協賛金を募ったりして対応していきたい。事業所等にも声をかけ協力をお願いしていく。 ・組織を大きくして個人対応でなく発信していく。 ・二川の梅田川をさくらの名所にしていく・・・歯抜けになっている土手にも植えていけるように運動していく。

トヨッキー基金



©豊橋市トヨッキー



◇みなさまからの寄附と同額を市からも積み立てるので、
寄附の効果は2倍になります!

市民協働推進補助金は、
トヨッキー基金（市民協働推進基金）から
交付されています。



豊橋市 市民協創部 市民協働推進課
〒440-8501
豊橋市今橋町1番地(西館4階)
TEL: 0532-51-2483
FAX: 0532-56-5128
MAIL: shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp